

Vマイグレーション編【ver.7】

本文書のご利用にあたって

本文書には著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改 変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き禁止されています。本文書内の社名、製品名は各社の商標又は登 録商標です。本文書の内容は2024年4月5日現在のものです。

※本文書で使用している情報及び画像は本文書執筆時点のものです。そのため、最新版の製品および製品Webサイトと文言やデザイン等が異なる場合がございます。

第1章 使用する前の確認事項

Vマイグレーションとは	6
システム要件	7
本書で想定する構成	8

第2章 移行元サーバーの環境情報を取得する STEP1 Vマイグレーションツールを入手する 12

STEP2 Vマイグレーションツールで環境情報を取得する-----13

第3章 Vマイグレーションを実行する

Vマイグレーション実行の流れ	16
STEP1 移行元サーバーを追加する	17
STEP2 アカウント情報の移行診断をする	19
STEP3 アカウント情報のデータ移行をする	21
STEP4 共有フォルダーの移行診断をする	23
STEP5 移行速度を調整する	25
STEP6 共有フォルダーのデータ移行をする	27
STEP7 環境情報を更新して再度移行する	29

補足

エラー 一覧	32
ドメインへのログインアカウントを設定する――――――――――――――――――――――――――――――――――――	34

本文書は、ストレージ仮想化ソフトウェアVVAULTの「Vマイグレーション」機能を使用して、ファイルサーバーを移行する為の 手順書です。

本書の適用範囲

- ・本文書はVマイグレーションに関する部分のみを対象範囲とし、その他の機能・設定については含みません。
- ・本文書の内容は設定・操作手順を中心とするものであり、製品やサービスの内部構造に関わる設計及び構造に関しては原則として 含みません。
- ・本文書の設定・操作手順はサーバーOSを対象としております。



VVAULT 導入ステップガイド Vマイグレーション編【ver.7】

Vマイグレーションとは

Vマイグレーションは、煩雑なファイルサーバーの移行作業を容易に行うためのマイグレーション機能です。専用のVマイ グレーションツールを使うことにより、移行元のサーバーに保存されているファイルだけでなく、ユーザー、グループと いったアカウント情報や、共有フォルダーの設定情報までも移行することが可能です。



より安全で確実なデータ移行を可能にする「移行診断」

Vマイグレーションでは、各々の移行ジョブに対して、移行に掛かるおおよその時間と、移行対象の件数を計測する「移行診断」が可能です。本番の移行前に、発生する可能性が高いエラーや移行の所要時間を把握することで、安全且つ確実にデータを移行することが出来ます。

☐ DevTeam-B (192.168.1.100)					
, 〈診断済み(受付日時:2014/02/12 18:00 実行日時:2014/02/12 23:00 ~ 2014/02/19 23:00)					
	推定路行网	「夏姑期け 168時間 です。			
	総件数	移行対象件数	移行可能件数		
	30,000,000	30,000,000	29,999,888		
ファイル		500.000	500,000		
ファイル フォルダ	500,000	300,000			

アカウント、グループ、共有設定、アクセス権を一発で移行

Vマイグレーションでは、ファイルに加えてアカウント情報やグループ情報、共有設定、アクセス 権情報といった、サーバーの移行に必要な情報も自動的に移行します。移行は現行サーバーの バックグラウンドで処理されるため、業務に影響を与えない「ダウンタイムゼロ」での切り替えを 可能にします。

各所に散在しているデータを纏めてサーバーを統合

各所に散らばっていたデータを「VVAULT」に集約することで、これまで煩雑で管理しきれな かったストレージ環境を、スッキリと統合することが出来ます。複数のサーバーから一括で移行 出来る「マルチマイグレーション」を使えば、統合作業も簡単です。







CPU	Intel x86、x64 互換プロセッサ(Core 2 Duo 2GHz 以上推奨)
対応OS	サーバーOS Windows Server 2012 R2(64bit)※1 Windows Server 2012(64bit)※1 Windows Server 2008 R2(64bit) Windows Server 2008(32bit / 64bit) Windows Storage Server 2012 R2(64bit)※1 Windows Storage Server 2012(64bit)※1 Windows Storage Server 2008 R2(64bit) Windows Storage Server 2008 R2(64bit)
メモリ	2GB以上(4GB 以上推奨)
ディスク容量	500MB 以上の空き容量※2
必要ソフトウェア	Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 Microsoft .NET Framework 3.5 日本語Language Pack SP1
対応ブラウザ	Internet Explorer 8 以降(解像度:1024×768 以上推奨)
対応環境	ドメイン(ドメインコントローラー、ドメインメンバー) ワークグループ

※1:ReFS形式でフォーマットされたストレージに本製品をインストールすることはできません。構成ストレージとして追加することは可能です。

※2:インストール後は、マスタモードで使用するコンテンツ数によってマスタモード/ライブバックアップDBデータ保存先のサイズも増減しますので、ご利用の環境に合わせて適切な空き領域を確保 してください。目安としては、DBデータ保存先別に100万コンテンツで2.1GB程度の容量が必要です。

ライセンス要件

「Vマイグレーション」を利用するにはBusinessライセンス以上が必要です。

また、複数サーバーの移行に対応した「マルチマイグレーション」や、移行の診断を行う「マイグレーションアセスメント」を利用するには、この上位ライセンスが必要となります。Vマイグレーション機能の各種ライセンス制限については下記の表をご確認ください。

	Basic	Business	Personal	Personal Plus	Professional	Enterprise
Vマイグレーション	×	0	0	0	0	0
マイグレーションアセスメント	×	×	×	0	0	0
マルチマイグレーション	×	×	×	0	×	0



VVAULTをアップデートして使用する場合について

「VVAULT ver. 7.0.0」より前のバージョンからのアップデートで本機能を利用する際は、ライセンスの再アクティベーションが必要となりますのでご注意ください。

本書で想定する構成

本書では、下図の構成を想定し、移行元サーバー「OldServer」から、移行先サーバー「NewServer」へアカウント情報 および共有フォルダーのデータを移行する手順について説明します。

ドメイン環境でアカウント情報を移行する場合について

本書では、ワークグループ環境でのデータ移行を想定しています。ドメイン環境においてVマイグレーションを使ったアカウント情報の移行を行う場合、予めドメイン管理者権限を持つアカウントを設定しておく必要があります。詳 しくは「[補足] ドメインへのログインアカウントを設定する(P.34)」を参照してください。

移行元サーバー:OldServer

- ・「部署A」と「部署B」の二つの共有フォルダーが存在する
- ・ローカル管理者権限を持ち、共有フォルダー内の全てのファイルにアクセスが可能なユーザー「VVAULT_Admin」が存在する

移行先サーバー:NewServer

- ・VVAULTがインストールされている
- ・マスタドライブがマウントされており、且つ移行元サーバーのデータを保存するのに十分な空き容量がある

構成図



■アカウント情報および共有フォルダーのデータ移行





VVAULT 導入ステップガイド Vマイグレーション編【ver.7】



製品サイトまたは最新版のVVAULTをインストールしたサーバーから「Vマイグレーションツール(VVAULT_VMigration_Tool_x.x.x.exe)」を入手して下さい。

▼ VVAULT製品サイトから入手する場合

VVAULT製品サイトの製品ダウンロードページ(https://vvault.jp/download/index.html)にアクセスし、Vマイ グレーションツールを任意の場所(デスクトップなど)にダウンロードして下さい。。

	関連ツール	
ママイグレーションツール	Vマイグレーション用に「移行元サーバーの環境設 対応OS	2注[備報」を抽出するツールです。
ver: 1.0.0 Basic (2014.06.18)	Windows Server 2022 Standard (64bit) Windows Server 2019 Standard (64bit) Windows Server 2016 (64bit)	Windows Storage Server 2016 (64bit)

▼ VVAULTがインストールされたサーバーから入手する場合

VVAULTをインストールサーバーの以下の場所から、移行元サーバー「OldServer」の任意の場所(デスクトップなど)に複製して下さい。

[VVAULTインストール先] ¥tools ¥VVAULT_VMigration_Tool_x.x.x.exe



1 「OldServer」サーバーに「VVAULT_Admin」でログインします。





Windows Script Host 🛛 🗙
以下のファイルを作成しました。 C¥Documents and Settings¥VVAULT_Adming-プリップ¥V_UserInfo_SV125_1406301456.txt C¥Documents and Settings¥VVAULT_Admin¥デスクトップ¥V_ShareFolder_SV125_1406301456.txt
<u> </u>

3 サーバーの環境設定情報の抽出処理が実行されます。



処理の結果が表示されますので「OK」をクリックします。

2 Vマイグレーションツールをダブルクリックします。





6 ⑤で生成された環境情報ファイルを「NewServer」サーバーに複製します。



環境情報ファイルについて

Vマイグレーションツール実行時に生成される環境情報ファイルは2つあり、それぞれ下記のような情報が含まれています。

アカウント情報ファイル(V_UserInfo_~.txt)・・・サーバー内のユーザ、グループなどのアカウント情報 共有設定情報ファイル(V_ShareFolder_~.txt)・・・サーバー内の共有フォルダーの設定情報



VVAULT 導入ステップガイド Vマイグレーション編【ver.7】

Vマイグレーション実行の流れ

Vマイグレーションを利用したファイルサーバーの移行手順は下記のようになります。

STEP1 移行元サーバーを追加する(P.17)

移行元サーバーを指定し、アカウント情報や共有フォルダーを「移行ジョブ」として設定します。

STEP2 アカウント情報の移行診断をする(P.19)

移行対象のアカウント、グループ、グループメンバーの件数を計測します。

STEP3 アカウント情報のデータ移行をする(P.21)

移行対象のアカウント、グループ、グループメンバーを移行します。

STEP4 共有フォルダーの移行診断をする(P.23)

移行対象のファイル数、おおよその所要時間、発生する可能性の高いエラーの件数を計測します。

STEP5 移行速度を調整する(P.25)

移行処理中のデータ転送速度とサーバー負荷とのバランスを調整します。

STEP6 共有フォルダーのデータ移行をする(P.27)

移行対象のファイルと、ファイルに付随する共有設定を移行します。

STEP7 環境情報を更新して再度移行する(P.29)

移行中に移行元サーバーを運用していた場合、環境情報を更新して再度移行します。



VAULT [®] 管理コンソール			
🔲 マスタモード (V:)	ロ レプリカモ	<i>"</i> ∥−	バックアップ/レプリケー
\$ 4 \$ 2			
🗆 🥪 VVAULT (V:)	VVAULT (V:)		
■ 🎲 最速ストレージ			
Storage			
■ 🎲 高速ストレージ			
■ 🏈 中速ストレージ	ドライブ設定		
■ 🍄 低速ストレージ	ドライブレター	· V: V	
■ 🥸 クラウドストレー: 1	1-212/29-	· •· •	
■ 🧇 クイックマイグレーション	ボリュームラベル	: VVAULT	
 ・ ・ ・	バッファサイズの目安*	: 0 GE	3
	ディスクタイプ	: () 固定ディス	ヶ(ごみ箱あり) ○リムーノ

VVAULT管理画面の「マスタモード」タブを選択した状態で「Vマイグレーション」をクリックします。



VAULT 管理コンソール						1>24	ツス1 マスタモ	-⊧(V:) 👻
🔲 マスタモード (V:)	レプリ:	カモード	バックアップ/レプリケーショ	> 916	₹9->	計告·降害情報	994	
(\$4 (\$4)					729F517	Mount	2	マ スタモ
= 🗢 VVAULT (V:) ■ 伦 最速ストレージ	Vマイグレーシ	·∍>						
🛛 🌮 Storage							サーバ追加	サーバ南印
■ 🎲 高速ストレージ								
 ・ ・ ・	衣木(きゅサールは	1890年世代~						
 ・ ・ ・								
 ■ ■ ● かイックマイグレーション 								
 Wマイグレーション 								

	サーバ追加	
サー バ追加 移行元のサーバ	育報を入力し、決定ボタンをグリックしてください。	3
移行元サーバ*	: アカウンド情報ファイル C:¥Users¥VVAULT_Admin¥Desktop¥_UserInfo_OldSe 共有設定情報ファイル C:¥Users¥VVAULT_Admin¥Desktop¥_ShareFolder_Ol OldServer	参照 参照
	 ✓ 接続にユーザ名とパスフードを使用する ユーザ名 : OldServer¥VVAULT_Admin パスワード : ●●●●●●●●● ● 表示 	
移行速度	: ● 標準 ○ 中速 ○ 高速 ○ 最高速 4 決定	キャンセル

3 サーバー追加のサブウィンドウが開きますの で、「OldServer」サーバーで生成した環境情報 ファイルを指定します。「V_UserInfo」で始まる ファイルを「アカウント情報ファイル」の欄に、「V_ ShareFolder」で始まるファイルを「共有設定情 報ファイル」の欄にそれぞれ指定してください。

> ※Vマイグレーションツールを使用した環境情報ファイルの取得方法に つきましては、「第3章 [STEP3] アカウント情報のデータ移行 をする(P.21)」を参照してください。

サーバー名に「OldServer」、ユーザー名に
 「OldServer ¥VVAULT_Admin」、パスワードに
 はユーザー "VVAULT_Admin"のパスワードを入
 カして「決定」ボタンをクリックします。



VAULT [®] 管理コンソール	,				
🔲 マスタモード (V:)	ロ レプリか	E-k	バックアップ/レプリケ	ーション	タイムマシーン
I I I I I I I I I I I I I I I I I I I					
 VVAULT (V:) ※ 最速ストレージ 	Vマイグレーショ	ン			
Storage					
 ※ 高速ストレージ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	🔲 🎁 ¥¥0ldSer	ver	6		
■ �� 低速ストレージ	ステータス/処理順	ジョブ			
 *** クラワトストレージ *** クイックマイグレーション 		🎎 アカウント	青報		
 ・ ・ ・		👕 部署A 🛽	◆ 🖌 V:¥部署A		
		👕 部署B 🛛	◆ 🛶 V:¥部署B		
	-				

5 確認のメッセージが表示されますので「OK」ボタン をクリックします。



6 アカウント情報の移行ジョブが1つと、共有フォルダ ーの移行ジョブが2つ作成されます。



2 診断開始

キャンセル



移行診断

診断結果はありません。

All アカウント情報(¥¥OldServer)

「アカウント情報」の「移行診断」ボタンをクリックします。

2	

移行診断のサブウィンドウが表示されますので、 「診断開始」ボタンをクリックします。





- 3
- 確認のメッセージが表示されますので「OK」ボタン をクリックします。



「アカウント情報」のジョブステータスが「診断中」と なり、移行診断が実行されます。

▼VAULT 管理コンソール				1>20>21	9E-F(V:) 🔹 🙆 🔅 🕞
🔲 マスタモード (V:)	レプリカモード	バックアップ/レプリケーション	タイムマシーン	登告·降害情報 52.1	
\$+ \$= \$				マスタドライブ Mount ティアリング C	C (۱۹۹۵) C
■ 🗢 VVAULT (V:) ■ 🐨 最速2トレージ	Vマイグレーション				
Storage				9-15830	サーバ刑論 設定
 ⑦ 東北ストレージ ◎ ② 中述ストレージ 	5 erver			<u>بو</u>	6 02 14:00 + 🜣
■ 🍄 低速ストレージ	ステーマス/約4000 555ブ				全 必括 全て移行
 マンファストレーン マンテストレーン マンティージレーション 	🗸 診験語み 🛛 🎎 アカウ	Mate			#行診断 データ都行 ×
	🔤 部署4	IV:VEREA			株行総新 〒−タ株行 ×
	🔤 at B a	➡ ♥V:¥#\$#B			#行診断 〒−9幣行 ×

移行診断 発 アカウンド情報 (¥¥OldServer)							
✓ 診断済み(受付日時:2014/07/08 11:2 7 日時:2014/07/08 11:25 ~ 2014/07/08 11:25)							
診断の結果、問題は見つかりませんでした。							
	総件数	移行対象件数					
アカウント	7	1					
グループ	17	2					
グループメンバ 11 6							
		診断開始 キャンセル					





6 「アカウント情報」の「移行診断」ボタンをクリックし ます。

7

移行診断のサブウィンドウに診断結果が表示され ますので、エラーが無いことを確認します。





アカウント移行

All アカウント情報 (¥¥OldServer)

□ エラーを無視して処理を続行する 🛛 次回ログオン時にパスワードの変更が必要

1 「アカウント情報」の「データ移行」ボタンをクリック します。

アカウント移行のサブウィンドウが表示されますの
で、「移行開始」ボタンをクリックします



2 移行開始

適用

キャンセル

▼VAULT [®] 管理コンソール					
🔲 マスタモード (V:)	ロレプリカモー	٠Ķ	バックアップ/レプリケーション	タイムマシーン	
(\$4 (\$ 4					マスタド
 マンVAULT (V:) マンジン マンジン 	Vマイグレーション	,			
■ 💞 Storage					
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	🔲 🍞 ¥¥OldServe	r			
 ● < ● ● ◆ ◆	др<mark>4</mark> щ	ジョブ			
■ 🧇 クイックマイグレーション	🕺 移行中 🚺	🙎 アカウンド間	報		
• • • • • • • • • • • • • • • • • • •		👕 部署A 🔳	▶ 🥪 V:¥部署A		
		👕 部署B 💻	▶ 🔊 A:t毗温B		

3 確認のメッセージが表示されますので「OK」ボタン をクリックします。

4

2

「アカウント情報」のジョブステータスが「移行中」と なり、データ移行が実行されます。

VAULT 管理コンソール				1>29>21	マスタモード (V:)	• 🔍 K	ð P
■ マスタモード (V:)	レプリカモード	バックアップ/レプリケーション	タイムマシーン	登告·降吉情報 921			
\$+ \$= \$				7298543 Mount 94792/3	0N 🛛 😨	マクモードに切開] [C
■ ◆ VVAULT (V:) ■ ☆ 最速2hu-ジ	Vマイグレーション						
🛛 🏈 Storage				9-10	830 U-1778	13 12	8
 ・ 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	5 erver			<u>پر</u>	新日時:2014/02/0	6	۵
■ 🍄 65821-0-0	ステー・スノ始理順 ジョブ				全て診断	全都行	
 ● ●2 クラウドストレージ ● ●> クイックマイグレーション 	✓ 都行済み 22 アカウンド	A VE			聯行診断	データ都行	×
 ・ ・ ・	🔤 RBA 🔹	♦ 🥪 V:¥#88A			移行診断	データ移行	×
	🔐 部署B 🔹	> ✓ V:¥£%88			移行診断	データな行	×

アカウント移行 アカウンド病級 (¥¥OldServer)							
✔ 移行済み (受付日時 :2014	#/07/08 11:27 実行日時 :2	014/07/08 11:27 ~ 2014/07	/08 11:28)				
□□ エラーを無視して処理を続行する	□ エラーを無視して処理を続行する 図 次回ログオン時にパワ 70 更が必要						
	1分未満で全てのアカウント情報	服の移行を正常に完了しました。					
	総件数	移行対象件数	移行完了件数				
アカウント	7	1	1				
ガループ	17	2	2				
グループメンバ	11	6	6				
P CreatedAccounts.txt							
		移行開始	適用 キャンセル				



5 データ移行が完了すると、「アカウント情報」のジョ ブステータスが「移行済み」となり、設定されたメー ルアドレスへ完了通知が送信されます。

「アカウント情報」の「データ移行」ボタンを クリック 6 します。



アカウント移行のサブウィンドウが表示され、そこに 移行結果が表示されますので、エラーが無いことを 確認します。

※エラーが発生した場合は「AccountsMigrationDetails.txt」を ダウンロードすることでエラー内容を確認できます。各エラーの詳細に ついては「[補足] エラー 一覧(P.32)」をご確認ください。

「CreatedAccounts.txt」をクリックし、新たに作成されたユーザーを確認します。 8

「CreatedAccounts.txt」ファイルについて

アカウント情報の移行が完了すると「CreatedAccounts.txt」ファイルが生成されます。このファイルには新た に作成されたユーザーと、一時的に設定されたパスワードの一覧が記録されています。





1 共有フォルダー「部署A」の「移行診断」ボタンをクリ ックします。

2	

移行診断のサブウィンドウが表示されますので、 「診断開始」ボタンをクリックします。

3 確 / を

確認のメッセージが表示されますので「OK」ボタン をクリックします。

- インスタンス 1 マスタモード (V:) マスタモード (V:) レプリカモード バックアップ / レプリケーション 聖告·陳吉信報 921 g. 3 Mount **1** 👘 WO 22 14:00 + 🗱 4 ≫a7 √ 184 #aa **28** 750>H 全て総新 全て移行 株行設新 7-9株行 X 🏭 アカウント清報 ₹ 1515年... 0 🔄 1518A ➡ 🥥 V:VISEA 移行除新 データ株行 × #行診断 〒−9時行 × 😋 18186 📫 🥪 V:¥18186
- 4 共有フォルダー「部署A」のジョブステータスが「診 断中」となり、共有フォルダーの移行診断が実行されます。





VAULT'管理コンソール					1>29>	χ 1 マスタモ−ド (V:)	• Ø. Ö	1 P
🖬 マスタモード (V:)	ロー レプリから	E—k	バックアップ/レプリケーション	タイムマシーン	聖告·降害情報 S	9+		
\$+ \$= \$					72.915-63 Mount 9-67	954 ON	マスタモードに切替	C
■ 🗢 VVAULT (V:) ■ 🏫 最速ストレージ	Vマイグレーショ	2						
Storage						サ ーバは33 サーバ	71118 127	
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	VVOldSer	ver				更新日時:2014/02	02 14:00 +	\$
 ・ ・ ・	5	597				6	全て移行	
 今 かイックマイグレーション 	✓ 郡行 み	2 Ph9>H	角紙			NG CAN	データ都行	×
 ・ ・ ・	✓ 診断済み	🚔 REBA 🛛	⇒ 🥪 V:¥EEBA			移行診断	データ整行	×
		🔄 NEB 🛛	♦ ♥ V:VIEEB			移行除断	データ物行	×

移行診断 ● 部署A (¥¥OldServer) ● ● ● V:¥部署A						
● 2014/07/06 11:37 で、2014/07/06 11:37 単一時、2014/07/06 11:36 / 推定移行所要時間は、7分です。						
	総件数	移行対象件数	移行可能件数			
ファイル	61	61	61			
フォルダ	5	5	5			
サイズ 273MB 273MB 273MB						
診断開始 キャンセル						

共有フォルダー「部署 B」のについても同様に移行診断を実行します。



移行診断が完了すると共有フォルダー「部署A」の ジョブステータスが「診断済み」となり、設定された メールアドレスへ完了通知が送信されます。

※長時間処理が完了しない場合、移行診断のサブウィンドウから 「診断中止」ボタンをクリックして中止し、移行速度を調整してください。手順については「第3章 [STEP5] 移行速度を調整する (P.25)」を参照してください。



共有フォルダー「部署A」の「移行診断」ボタンをクリックします。



移行診断のサブウィンドウに診断結果が表示され ますので、エラーが無いことを確認します。

※エラーが発生した場合は

「ShareAssessmentAccessDetails.txt」「ShareAssessme ntSecurityDetails.txt」「ShareAssessmentOtherDetails. txt」を

ダウンロードすることでエラー内容を確認できます。各エラーの詳細に ついては「[補足] エラー 一覧(P.32)」をご確認ください。

※推定所要時間が想定よりも長い場合は、「第3章 [STEP5] 移 行速度を調整する(P.25)」を参考に移行速度を調整してください。

P.24

[第3章] Vマイグレーションを実行する

STEP5 移行速度を調整する

Vマイグレーションの移行速度はデフォルトで「標準」となっています。「移行所要時間」が想定よりも長い場合や、または、表示された「移行速度」が想定より遅い場合は、以下の手順を参考に移行速度を調整してください。

VAULT'管理コンソール	2				1729721 3	(9E-F(V:) 🔹 😰 🔂	
🔲 マスタモード (V:)	ロ レプリが	E-k	バックアップ/レプリケーション	タイムマシーン	登告·降吉信報 991		
(H) (H)				र	291547 Mount 747020	R تركيم مركز مركز مركز مركز مركز مركز مركز مرك	
 マンVAULT (V:) 部 船底ストレージ 	Vマイグレーショ	2					
Storage					サーバ油の	サーバ削除 おね	
 ● <li< th=""><td>🗆 🍵 ¥¥OldSer</td><td>ver</td><td></td><td></td><td colspan="3">更新日時:2014/02/02 14:00 🕇 🔅</td></li<>	🗆 🍵 ¥¥OldSer	ver			更新日時:2014/02/02 14:00 🕇 🔅		
 ・ ・ ・	ステータス/処理順	ジョブ			全て診断 全て移行		
 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 	✔ 移行済み	2 Ph9>M	青蝦			格行被新 〒-9株行 ×	
 Wマイグレーション 	✓ 8085524	🚔 BEA 🔹	VIVEEA			移行被断 データ物行 🗙	
		🚔 #BB 🔹	→ ↓ v:v##8			格行說新 7-9卷行 🗙	

	サーバ編集	
サーバ編集 移行元のサーバ情	着戦を入力し、適用ボタンをクリックしてください。	
移行元サーバ*	アカウント情報ファイル 共有設定情報ファイル	参照
	¥¥OldServer ☑ 接続にユーザ名とパスワードを使用する ユーザ名 : OldServer¥VVAULT_Admin パズワード : ●●●●●● □ 表示	
移行速度	: ○ 標準 ④ 中速 ○ 高速 ○ 最高速 2 通用	キャンセル



4

1 「サーバー編集」ボタンをクリックします。



サーバー編集のサブウィンドウにて、移行速度を一 段階引き上げ、「適用」をクリックします。 ※移行速度を上げた場合、共有フォルダーの移行を実行した時に移行

元サーバーとネットワークにかかる負荷が上昇します



「第3章 [STEP4] 共有フォルダーの移行診断をする (P.23)」を参照し、共有フォルダー「部署A」および「部署B」の移行診断を実行してください。



診断が完了したら、共有フォルダー「部署A」および「部署 B」の診断結果から「推定移行所要時間」を確認します。推 定移行所要時間が依然として長い場合には、同様の手順 にて移行速度をもう一段階上げてください。

✔ 診断済み (受付	目時 : 2014/07/08 11:44 🔀	口日時 : 2014/07/08 11:4	4 ~ 2014/07/08 11
	推定移行所要	時間は、2分です。	
	総件数	移行対象件数	移行可能件数
ファイル	61	61	61
フォルダ	5	5	5
サイズ	273MB	273MB	273MB





データ移行

移行先フォルダ

移行オプション

👕 部署A (¥¥OldServer) <table-cell-rows> 🥪 V:¥部署A

移行元共有フォルダ*: ¥¥OldServer¥ 部署A : V:¥ 部署A

: 🗹 共有設定を引き継ぐ

□ エラーを無視して処理を続行する

共有フォルダー「部署A」の「データ移行」ボタンをクリック します。

2	
—	

3

データ移行のサブウィンドウが表示されますので、 「移行開始」ボタンをクリックします。

Web ページからのメッセージ	x
? 移行を開始します。よろしいですか?	
3 OK キャンセル	/

共有フォルダ名: 部署A

2 移行開始

適用 キャンセル



確認のメッセージが表示されますので「OK」をボタンクリ ックします。

確認のメッセージが表示されますので「OK」をボタンクリ Δ ックします。





□ 共有フォルダー「部署A」のジョブステータスが「移 行中」となり、データ移行が実行されます。

※表示されている移行速度が遅い場合は、「第3章 [STEP5] 移行 速度を調整する(P.25)」を参考に移行速度を調整してください。



ステータスカ	「移行済み」とな	り、設定されたメール
アドレスへ完	了通知が送信さ	れます。

共有フォルダー「部署A」の「データ移行」ボタンをク リックします。

移行が完了すると共有フォルダー「部署A」のジョブ



6

7

データ移行のサブウィンドウに結果が表示されます ので、エラーが無いことを確認します。

 ※エラーが発生した場合は
 「ShareMigrationAccessDetails.txt」
 「ShareMigrationSecurityDetails.txt」
 「ShareMigrationOtherDetails.txt」をダウンロードすることでエラー内容を確認できます。各エラーの詳細については「第 4章 エラー 一覧(P.32)」をご確認ください。

デー 夕移行	V:¥部署A		
✔ 移行済み(受付日時 : 2014,	/07/29 12:03 実行日時 :2014	4/07/29 12:03 ~ 2014/07/29 12:06	移行速度 :1.43MB/sec)
	¥¥PC008¥ 部憲A V:¥ 部憲A Eを引き継ぐ E税して処理を続行する	3 部題A	
	3分で全てのデータ種	狩を正常に完了しました。	
	総件数	移行対象件数	移行完了件数
ファイル	61	61	61
フォルダ	5	5	5
サイズ	273MB	273MB	273MB



共有フォルダー「部署 B」についても同様にデータ移行を実行します。

STEP7 環境情報を更新して再度移行する

本章の【STEP 1】~【STEP 6】までの移行中に移行元サーバーを運用していた場合、アカウントや共有フォルダー が変更されている可能性があります。「第2章 [STEP2] Vマイグレーションツールで環境情報を取得する (P.13)」を参考に、新しい環境情報ファイルを取得して、再度移行を実行してください。 なお、新しい環境情報ファイルを使用して診断した結果、移行対象件数が0件となった場合は、再度移行する必要はあり ません。

アカウント情報のデータ移行を再実行する際のご注意

アカウント情報の移行を再実行した場合、移行元で削除されたアカウント情報については移行の対象になりません。移行先にてアカウント情報が削除されることはありませんのでご注意ください。

共有フォルダーのデータ移行を再実行する際のご注意

共有フォルダーの移行を再実行した場合、移行元のデータと完全同期を行います。移行先で作成・変更したデータ は消去されますので十分ご注意ください。

VAULT Administration			(4)	スタンス1 マスタモ	-ʰ(V:) 🔻 있	\$₽
🔲 マスタモード (V:)	レプリカモード	バックアップ/レブリケー	-93> 911	マシーン	弊志·登告情報 0	
34 3± 34			マスタドライブ Mount	₹<7")>Ø OM	マスタモードに切り	• C
■ 🗢 VVAULT (V:) ■ 🏫 最速ストレージ	Vマイグ レーション					1
= 🌮 Storage					サーバ追加サ	一八副之
 ● 令 高速ストレージ ● 令 中速ストレージ 	🛛 🎁 ¥¥OldServer				(+ 🌣
■ 🍄 低速ストレージ	ステータス/処理順	ジョブ		á	11日本で1月1日の1日本で1月1日本に1月11日本に1月111日本に1月11日本に1月11日本に1月11日本に1月111日本に1月111日本に1月111日本に1月11111年に1月11111月11日本に1月1111年に1月1111111111111111111111111111	
 	✔ 移行済み	22 アカウント情報			行診断 データ移行	×
 ・ ・ ・	✔ 移行済み	👕 部署A 🌩 🥪 V:¥部署A			行診断 データ移行	×
	✔ 移行済み	😋 部署B 🌩 🥪 V:¥部署B		-	行診断 データ移行	×

	サーバ編集	_
サーバ編集 移行元のサーバ福	端を入力し、適用ボタンをクリックしてください。 2	
移行元サーバ*	 アカウント情報ファイル C:¥Users¥VVAULT_Admin¥Desktop¥_UserInfo_Old 共有設定情報ファイル C:¥Users¥VVAULT_Admin¥Desktop¥_ShareFolder_ ¥¥OldServer 	Se 参照 OI 参照
	 ✓ 接続にユーザ名とパスワードを使用する ユーザ名 : OldServer¥VVAULT_Admin X パスワード : ●●●●●●● □ 表 	示
移行速度	: 〇 標準 • ● 中速 ○ 高速 ○ 最高速 3 通用	キャンセル





サーバー編集サブウィンドウが開きますので、 「OldServer」サーバーで再度新しく生成した環境 情報ファイルを指定します。「V_UserInfo」で始ま るファイルを「アカウント情報ファイル」の欄に、「V_ ShareFolder」で始まるファイルを「共有設定情 報ファイル」の欄にそれぞれ指定してください。

※Vマイグレーションツールを使用した環境設定情報の抽出方法につきましては、「第2章 [STEP2] Vマイグレーションツールで環境情報を取得する(P.13)」を参照してください。



「適用」ボタンをクリックします。





以降は「第3章 [STEP2] アカウント情報の移行診断をする(P.19)」から「第3章 [STEP6] 共有フォルダーの データ移行をする(P.27)」の手順を移行対象件数が「0件」となるまで繰り返し実行します。

4 確認のメッセージが表示されますので「OK」ボタン

をクリックします。



VVAULT 導入ステップガイド Vマイグレーション編【ver.7】

Vマイグレーション実行時にエラーが発生した場合の対象方法は、下の表を参照してください。

アカウント情報の移行に関するエラー

メッセージ	対処法
同名のグループが存在するためアカウント を作成できませんでした。	移行先にすでに同名のグループが存在する状態です。必要に応じてグループ名を変更してください。
アカウントを作成できませんでした。	移行先でアカウントが作成できない状態です。必要に応じて手動でアカウントを追加してください。
同名のアカウントが存在するためグループ を作成できませんでした。	移行先にすでに同名のアカウントが存在する状態です。必要に応じてアカウント名を変更してくださ い。
グループを作成できませんでした。	移行先でグループが作成できない状態です。必要に応じて手動でグループを追加してください。
グループが存在しないためグループメン バを追加できませんでした。	移行先でグループが作成できない状態です。必要に応じて手動でグループを追加してください。
アカウントが存在しないためグループメン バを追加できませんでした。	移行先でアカウントが作成できない状態です。必要に応じて手動でアカウントを追加してください。
グループメンバを追加できませんでした。 ドメインへの接続設定を確認してくださ い。	ドメイン環境ではアカウントの操作を行うためにVVAULTにドメイン管理者権限を持つアカウントを 設定しておく必要があります。「ドメインへのログインアカウントを設定する(P.34)」を参照して ください。
グループメンバを追加できませんでした。	移行先でグループメンバが追加できない状態です。必要に応じて手動でグループメンバを追加して ください。
処理が中止されました。	処理中に中断操作またはVVAULTのサービスが停止した可能性があります。 必要に応じて再実行してください。

共有フォルダーの移行に関するエラー

メッセージ	対処法
移行元のコンテンツが読み込めませんで した。	下記について確認してください。 ・対象コンテンツがロックされていないか ・対象コンテンツが保存されているストレージにアクセスできるか
移行元のパスに接続できませんでした。	エクスプローラーで対象のパスに接続できるか確認してください。もし接続できる場合は一度サー バーの再起動を試みてください。
指定された接続ユーザーでは対象のコン テンツにアクセスできませんでした。	対象のコンテンツに対し、サーバー追加時に指定したユーザーへのアクセス許可があるか確認して ください。
移行先に書き込みできませんでした。	下記について確認してください。 ・VVAULT上の対象コンテンツがロックされていないか ・VVAULTの構成ストレージ内で対象コンテンツが保存されたストレージに異常はないか ・VVAULTの構成ストレージに空き領域があるか

メッセージ	対処法
書き込み先ストレージに接続できません でした。	下記について確認してください。
	・VVAULT上の対象コンテンツがロックされていないか
	・VVAULTの構成ストレージ内で対象コンテンツが保存されたストレージに異常はないか
	・VVAULTの構成ストレージに空き領域があるか
移行先に存在しているコンテンツを操作で きませんでした。	下記について確認してください。
	・VVAULT上の対象コンテンツがロックされていないか
	・VVAULTの構成ストレージ内で対象コンテンツが保存されたストレージに異常はないか
	・VVAULTの構成ストレージに空き領域があるか
書き込みできるストレージがありません でした。	下記について確認してください。
	・VVAULT上の対象コンテンツがロックされていないか
	・VVAULTの構成ストレージ内で対象コンテンツが保存されたストレージに異常はないか
	・VVAULTの構成ストレージに空き領域があるか
同名の共有名が存在するため共有設定 が引き継げませんでした。	移行先で同じ共有名の共有フォルダーが存在します。必要に応じて共有名を変更してください。
パスの長さの制限を超えるコンテンツが 見つかりました。	VVAULTの構成ストレージに保存する際、パスが長すぎて保存できない状態です。移行元でパスを 短くするか、構成ストレージの管理対象パスが短くなるようストレージを再構成してください。
セキュリティ設定の変換に失敗しました。	ワークグループ環境の場合、移行先で同名のアカウント情報が存在しないためセキュリティ情報を 引き継げない状態です。必要に応じて手動でアカウント情報を追加してください。 ドメイン環境の場合、移行元で設定されたセキュリティ情報に名前の解決できないアカウント情報 が存在する可能性があります。必要に応じてセキュリティ設定を変更してください。 ※なお上記は「エラーを無視して処理を続行する」オプションを使用することで強制的に解決させることができます。
処理が中止されました。	処理中に中断操作またはVVAULTのサービスが停止した可能性があります。 必要に応じて再実行してください。

ドメインへのログインアカウントを設定する

ドメイン環境においてVマイグレーションを使ったアカウント情報の移行を行う場合、予めドメイン管理者権限を持つア カウントを設定しておく必要があります。



1 VVAULT管理画面の「システム設定」ボタンをクリックします。



2 「アクティブディレクトリ」タブをクリックします。

3 「ドメインへのログイン設定を使用する」にチェック を入れ、ドメイン管理者権限を持つユーザー名とパ スワードを指定します。



「接続テスト」ボタンをクリックします。



Ð

C

「確認のメッセージが表示されますので「OK」ボタ ンをクリックします。

		2			接続テスト	進用	元に戻す
	0 cm (Ext. cm 20	1245 com)		_			
ドメインへのログイン設	RAE (Fスイノ・WSZO 定を使用する	1200.0011)					
・ザ名 : Admini	strator						
0-6 : 0000		□表	示				
記の設定は、レプリケー3	24ン及び各種データマイグレーシ	aンの際に使用されます。					
記の設定は、レブルケー:	>コン及び各種データマイグレーシ	3ンの際に使用されます。					
記の設定は、レプリケー:	はン及び名種テータマイグルーシ	ョンの際に使用されます。					



面に戻る



VAULI Admin	istration					Ø, 🌣 🛙
元の画面に戻る						(
マステム設定					7	
ライセンス	レポートメール	アクティブディレクトリ	初期化			
ライセンス	レポートメール	アクティブティルクトリ	初期化	接続テスト	違用	元に戻す
ライセンス *メインへのログイン語 『ドメインへのログイン語	レポートメール 対定 (ドメイン:ws20 たを使用する	<i>፻ሳティፓティ</i> レሳŀIJ 12dc.com)	初期化	接続テスト	違用	元に戻す
5イセンス メインへのログイン語 ごドメインへのログイン設計 ローザ名 : Adminis	レポートメール 3定(ドメイン:ws20 を使用する trator	<i>Pሳティᡗティ</i> レሳトリ 12dc.com)	初聘化	振続テスト	違用	元に戻す





6 確認のメッセージが表示されますので「OK」ボタン をクリックします。



「適用」ボタンをクリックします。



8 確認のメッセージが表示されますので「OK」ボタン をクリックします。

